



(参考1)

## H-II A ロケット 25号機のミッション概要

平成26年6月12日

三菱重工業株式会社  
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

## 1. 打上げの概要

H-II A ロケット 25号機により、静止気象衛星ひまわり8号 (Himawari-8) を所定の軌道に投入する。

## 2. ロケット及びペイロードの名称及び機数

- ◇ロケット：H-II A ロケット 25号機 1 機
  - ・ H-II A 202
  - ・ 4m径フェアリング (4S型)
- ◇ペイロード：
  - ・ 主衛星 ： 静止気象衛星ひまわり8号(Himawari-8) 1 基

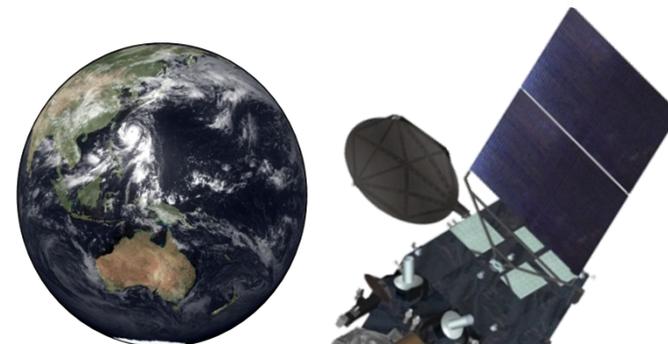
## 3. 静止気象衛星ひまわり8号 (Himawari-8) の概要

ひまわり8号は、現在運用中の運輸多目的衛星ひまわり7号 (MTSAT-2) の後継衛星です。ひまわり8号は軌道上での機能確認試験を実施した後、平成27年度 (2015年) から7年間、我が国の気象衛星として運用に供される計画です。ひまわり8号は最先端の観測技術を有する可視赤外放射計 (AHI) を搭載し、米国や欧州などの他の次世代静止気象衛星に先駆けて運用を開始することから、国際的にも注目されています。

なお、2年後の平成28年 (2016年) には、同一仕様のひまわり9号が打上げられ、平成34年度 (2022年) にひまわり8号から運用を引き継ぐまでは、軌道上で待機する計画になっています。

AHI : Advanced Himawari Imager の略

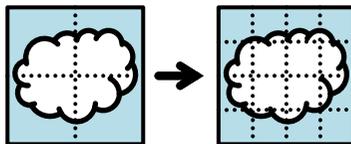
- ✓気象庁では、国民の安心・安全に寄与する防災情報の作成及び地球環境の監視に欠かせない静止気象衛星ひまわりを継続して運用します。
- ✓平成26年度、現在のひまわり7号の後継として、観測機能を強化したひまわり8号を打ち上げる予定です。



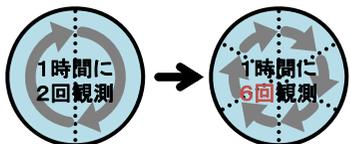
### ★主要諸元

主な項目	諸元
軌道上展開後の大きさ	全長約8m
打上げ質量	打上げ時 約3,500kg ドライ 約1,300kg
静止軌道初期の発生電力	約2.6kW
設計寿命	15年以上
ミッション運用寿命	8年以上 (運用7年+並行観測1年)

#### 【分解能を2倍】



#### 【観測頻度を3倍】



#### 【観測種別を3倍】

観測種別	現行5種類	次期16種類
白黒画像	1種類	3種類 (BGRカラー合成画像)
近赤外域	なし	3種類
赤外域	4種類	10種類
波長	短い (人の目に見える)	長い (人の目に見えない)

- ✓台風や集中豪雨等の観測情報をより精密により早く提供できるようになります。

